

# 末松信介・自民党水産部会長に聞く （上）

政権政党に復帰し、水産政策の立案・推進をしていく自民党水産部会。その部会長に昨年末、末松信介参院議員（兵庫選挙区＝写真）が就任した。折しも平成25年度予算審議、震災復興対策など緊急の政策課題が日白押し。このため活発に水産部会を開催し、積極的に持続可能な強い水産業の確立に向けた検討を行っている。そこで、末松部会長に水産に対する思いを聞いた。（有村）

自分で魚料理を作つたて上手に食べなさいとよ タコはもち  
く言われたことも理由で ろん、魚介  
類は何でも

# 魚大好き、山

す。開きのサンマでも「ワタ」のところが苦手です。  
サンマでも、どちらででしたが、今はうまい味に  
おいしいです。理由は、感じます。

「サンマがメーンのおかずだ。凝った魚料理はほとんどが苦手、若い女性が包子の作り方を覚えるのが難しくなってきましたからです。母に「まだできません。ただ、宿舎を持つたことがないといりする必要がなくなつて、サンマか」とぶつぶつで魚を買ってきて焼いてう風潮をどのように考えています。

「い続けていた間に、い食べることとかあります  
ますか

末松部会長 まず、ズに応えた結果でもあり  
魚離れの根源的な原因 ます。電子レンジでチン  
は、女生徒でなく子供 したうすごく食べるア

魚料理で豊かな食事風景  
大好き、中でもサンマが好き

# 魚料理で豊かな食事風景

要がなくなつて費を上回りましたが、先生はどうちらが好きです。うかがいます。水質保全の環境問題についてた。そこで魚を捌いた——肉の消費が魚の消費だとと思うのです。

、消費者の二一  
か。

た結果でもあり　末松部会長　どちら やリンを規制しています。考えて子レンジでチンも食べます。あえて言えが、水がきれいになつた派の善いです。会合では当然、のはよいですが、魚がすて、汚

手間のかからな  
が増え、調理に費  
が、昔と比べ、  
てているように感  
世の中になつて  
る刺身料理は出てきます  
し、魚を主体とした食事  
を心掛けています。霜降  
りの肉は大変おいしいで  
す。ある意味です。でも、量を多く食べ  
ると、堪能してしまうの  
む環境まで壊されでは漁師は困ります。瀬戸内海 たゞ

多様な生態系でできる水質管理を

調理することを嫌がるようになつた原因だと思いります。そんなこともあります。そんなこともあつては便利な世の中になつてると、堪能してしまうの減ってきているように感じます。でも、量が多く食べじられます。ある意味で、りの肉は大変おいしいです。